

バタースカル牧場追加イベント

街道での遭遇

トライボア街道移動の二日目、旅路を急いでいると、ネヴァーウィンター森のほうから 1匹の猪がPTをじっと見ていることに気づく。
神官殿が近づくと猪が話をしてくれる。

「異国の同胞よ、この先に進むことはお勧めできない」

猪は瞬く間に人型の姿をとった。それはハーフオークの女性のようなのだ。

「私はこの森の奥地に住む部族”ターロスの隠者”に属する”ターロスの瞳”のドレスナ」



ハーフオークのドレスナ

自/他部族、森等の監視を行う長直属の組織
ターロスの瞳のメンバー

監視の他に干渉してきた文明社会への警告
や同族の後始末も行う。

瞳という組織は他のハーフオークより、文明社会
や他部族に対する知識があり、何も知らずに
行動する同族に少し嫌気がさしている。

以下、ドレスナとの会話

(ニゴンを他部族の同胞と勘違いし、愚痴を
垂れ流し、ストレスを発散させていったw)

- ターロスの隠者はハーフオークの部族で嵐の悪神ターロスに信仰している。
文明社会とは距離をおいて過ごしてきた、最近までは…(溜息)
- 少し前にアイススパイア山に竜が飛来したことを知っているか？
竜はそこを住家としていたオークの大部族を蹴散らし、族長を殺した。
オークの結束はバラバラとなり小部族ごとに独自の行動をとるようになった、
再び竜に挑み骸を晒すもの、山のふもとや森に逃げ込む者など様々だ。
その一部がこの先で略奪を始めている。(⇒バタースカル牧場のこと)
また、オークの大移動に住家を奪われ、ふもとに姿を表すクリーチャーも
増えている。
- 最も厄介なオークは古き盟約に基づき我らに助力を求めてきたオークどもだ。
ある部族は竜に挑むため、雷鳴猪”ゴーソック”様を呼べと言うし、ある部族は
竜に恐怖し、文明社会への侵略を画策している。
- 我らの長はこれらの依頼に消極的だが、世間をしらない一部の若い部族の
リーダーが奴らの提案に乗り気なのには困った者だ。